

## 第1章 トランスクリプト例

(9時46分00秒～9時52分00秒)

Y : 言葉はねえ、平家物語のhなhかhにちゃんとできます。

I :

S :

G :

K :

---

Y : //ええ。

I : ああ、そう //です//か。//んん：：：ん。

S : //ふ：：：：//ん。

G :

K :

---

Y : で、そことおって、そいで、え：：にじゅう、う：：、じゅ：：はちにちに (.) 屋

I :

S :

G :

K :

---

Y : 島に着いておるんです。

I : はい。

S :

G :

K :

---

Y : だから二日間 (.) しかいなかったんですよ。//ここに、徳島に、

I : //あ、阿波にはね、え：：

S :

G :

K :

---

Y : ところが、hhhhま、今、いろいろお話あちこちのhほhっhていますね。

I :

S :

G :

K :

---

Y : だから : : //ええ : :、あっちよったりこっちよ  
I : あっちへいった、こっちへいっ// た。  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : ったりっていうことでhhただねえ : :あの : :、私たちがこ、この時代のことを  
I :  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : 考えるのには、あの、義経が、だけのことを考えたらいかんのじゃないかと思うんで  
I :  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : すよ=  
I : =う、う : :ん=  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : =んで、義経にかけてね (.) 義経に味方して、いくへいしが(.) あの : :、みなよ  
I :  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : っていくわけですよね=  
I : =はい  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : で、hhあの : : 徳島へきたときは150人だったんですけども//屋島に  
I : え //え  
S :  
G :  
K :

---

---



Y : またあの : : h h 讃岐に入ったんだと、ずいぶん遠回りしたな : : : なんてことを考  
I :  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : えるわけです // (けどもそうじゃないんだと思うんです。)  
I : // ふ : : : ん はい。  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : ま、こういうふうにして(.) あの : : とうとう屋島の合戦を迎えるわけですけど :  
I :  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : : ま : この屋島の合戦の時に非常におもしろいお話がございますね == なす // の  
I : // はい  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : 那須与一の // 話 (ですね : :) // ええ  
I : // あ : : // 有名なね // え : : :  
S : // 有名ですよね : :  
G :  
K :

---

---

Y : んでね、それをちょっとね h h h 私昨日 h h 源氏物語で読んでたら(.) だいたいあ  
I :  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : の、よ、80メートルから90メートルくらいのところまで : : : っと舟が(.)  
I :  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : あの源氏方のほうへ平家の舟がやってきましたね。

I : // はい。

S : // ええ。

G :

K :

---

---

Y : ほいで、よこつけでえ : : : こ (の) はらを見せてですね (.) あの : : まっすぐ進

I :

S :

G :

K :

---

---

Y : ンできた舟が横向きになって

I : はい

S :

G :

K :

---

---

Y : ひとりのえ : : 17, 8のあの、え : : : (1. 6) 女の人がですねまああの : : :

I :

S :

G :

K :

---

---

Y : 柳がさねという、外側が白で裏側が青の (.) 重ね着、昔はねあの : : 色って言うの

I :

S :

G :

K :

---

---

Y : は全部かさねだったんですよ。

I : ふ : : : ん。

S :

G :

K :

---

---

Y : ンであっ色っていうか着物はね、

I : はあはあはあ

S :

G :

K :

---

---

Y : ほいであの今みたいにプリント (.) の技術はありませんので

I : ふ : : : ん

S :

G :

K :

---

---

Y : 裏に赤い着物を着て、それで上白着ると桜重ね=ピンクになる

I : //ほ : : ん

S : //ふ : : ん

G :

K :

---

---

Y : ほいで裏に2枚赤を着ると、それが濃くなるでしょ//

I : //ほ : ほ : //ほ : ほ :

S : //ええ

G : //ん : : : :

K :

---

---

Y : そういうふう工夫して色を出していくんです// (けれども)

I : //へえ : : :

S : //はあ : : :

G :

K :

---

---

Y : その時に(.) 彼女が着ておったのがですねえ、柳がすりといいまして、下が青で上

I :

S :

G :

K :

---

---

Y : が白なんですね//表が

I : //ほお : // : :

S : //んんんん

G :

K :

---

---

Y : ほんで、まあすみどりにうつりますかね、そいれにえ : : はかまが赤でございまし

I :

S :

G :

K :

---

---

Y: てね

I: はい

S:

G:

K:

---

---

Y: んで、赤いうちわに、い: : 金色の (.) 丸を描いた扇をひらひらひらひらさせて

I:

S:

G:

K:

---

---

Y: //挑戦するんですね=//=挑発するんですね=

I: //ふ: : ん //ふ: : ん =え: : :

S:

G:

K:

---

---

Y: うってみいてごらんよ//ちゅう (に)

I: //ええ: : :

S:

G:

K:

---

---

Y: で、まあ: : 義経: : がですね、誰ぞ (.) あ: : いるものはおらんかつう: : んで

I:

S:

G:

K:

---

---

Y: : : まあにじゅういっさ20さいの那須与一がこれをいぬくというね

I: う: : ん

S:

G:

K:

---

---

Y: いぬいあの: : それあたると (.) 源氏はもちろん平家もふなばたたいてかんせ

I:

S:

G:

K:

---

---

Y : いhをhあhげh//てh  
I : //はあはあはあ  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : のんびりしてますね  
I : まあ//ねえ  
S : //そうですねえ  
G : んhんhんhんh  
K :

---

---

Y : // ( )  
I : //そんな場合じゃないと//hおhもhうhんhでhすhけhどhねh  
S :  
G : //んhんhんhんh  
K :

---

---

Y : もうね、やられかけてるよとhいhうhはhなhしhも (hすhるhけhどhねh)  
I :  
S :  
G :  
K :

---

---

Y :  
I :  
S : ふ::ん  
G :  
K :

---

---

Y : //そうですね  
I : まああの昔の戦争というってのは、そういうかたちで//やっていたわけですよ  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : う::ん //あ:::ん  
I : 戦国時代ぐらいからですよ//あれだけ調略とかい//ろいろ使うように  
S : //は:::ん  
G :  
K :

---

---



Y : ね＝

I : 　＝はい

S :

G :

K :

---

---

Y : だから (.) あの : : : 天国とぶっえ : : 地獄まあこの当時でいえば、地獄、極楽を

I :

S :

G :

K :

---

---

Y : 見たというね、でこれ日本全体、日本人全体がねえそういうものを経験したわけなん

I :

S :

G :

K :

---

---

Y : ですね

I : 　ほうほうほう

S :

G :

K :

---

---

Y : で、その当時のしゅうきょう (.) かでまあ源信という人がゆふふ思想というのを (.)

I :

S :

G :

K :

---

---

Y : あの : : お話するわけですけども、みんながはあ : : 本当だなあこの世に地獄と極楽

I :

S :

G :

K :

---

---

Y : があるんだなというのをあのへいけものがえ : : 源平合戦は教えているわけです

I :

S :

G :

K :

---

---

Y : それでまあ、だからねえその後、平家がhhあの：：なくなりえ：：

I : //ふ：：ん

S : //ふ：：ん

G :

K :

---

---

Y : 滅亡しまして= んだら日本人っつ：：のはあの：：昔からそういう敗者への(.)

I : =はい

S :

G :

K :

---

---

Y : 同情っちゆうのはあるんでしょうね

I : う：//：ん

S : //う：：ん

G : //う：：ん

K :

---

---

Y : だからここに、い：：安徳天皇が死んだ、死んでおらないんだとか、あるいはまた源

I :

S :

G :

K :

---

---

Y : 氏ですけども、源義経はですね死んどらないと//んでえ：：中国に行ってジンギス

I : //あ：：

S :

G :

K :

---

---

Y : カンになっちゃったとhねh

I :

S : ふ：//：ん

G : //ん：：ん

K :

---

---

Y : hそhうhいhうhせhつh= //たしかにありましたね

I : =ありました//ね え：：：

S :

G :

K :

---

---

Y : //でまあこういう説はあの徳島の人で内田やはちという小説家なんですけど

I : ありま//したね

S :

G :

K :

---

---

Y : ね //そういうことをい、いってですね、それを信じたんですよ

I : ほお : // : ん

S : //ふ : // : ん

G :

K :

---

---

Y : ね

I :

S :

G :

K :

---

---



Y : ま、そういう::ところ::がね百ヶ所ぐらいありましてね//んで、そういう  
I : はあ //はい  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : とこ:ずっと見てみますとやっぱり山ぶか:い所で人情が厚くて //そいで  
I : //はあ  
S : ふん  
G :  
K :

---

---

Y : 経済的にはやっぱり(0.4)あの平野部に対して:非常に不満をもってる(という)  
I :  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : ところが //あの自分たちの思いを:合わせてこういう敗者に対する理解あの::  
I : はあ//あ::  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : ま同情をしていくわけですね これは日本の:::(人)のあれじゃないかと  
I : //ふ::ん  
S :  
G : //ふ::ん  
K :

---

---

Y : 思うんですけどねえ //いいところじゃないかと思うんですけども=  
I : ふ://:ん =//なるほ  
S :  
G : //ふ::ん  
K :

---

---

Y : やっぱり::あの:負ける:人に対しては、どないぞしてやりたいな(という)  
I : どねえ:  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : //よく::今のえ話で言えば選挙なんかもね:あの(人)は危ないぞなんつ  
I :  
S : //う:///:ん  
G : //あ:///::  
K :

---

---

Y : うと= =つhつhh//hhh //だからあふたあけてみたら:あのそ  
I : =ふふふ= //あはhh  
S : //ふhふh//ふhh  
G :  
K :

---

---

Y : なかったり://っという //まあ //ふ::ん  
I : //はは、じてんばらとかよく//( //)//そういう  
S :  
G : //ふ::ん  
K :

---

---

Y : =まあ:そういう::意味で言うと.hhいじめっていうのは日本的じゃ  
I : かんじですかね=  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : ないですね(.) //ん:今です(と) //ね //まそこで::  
I : あ::ちよっ//と異質なものです//ね、はあ:://.hh  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : あの:義経はかなり徳島で:えたいへ-えあの:し-:西日本全体で.hhあの人気があり

I :

S :

G :

K :

---

---

Y : ましてね                      わたし:の母親は明治何年生まれ母親だったってもう今は(.)あの

I :                      //はい::

S :

G :                      //ふ::ん

K :

---

---

Y : 生きてはおりませんが、.hh母親が子どもの時ですから明-え:大正ぐらいです

I :

S :

G :

K :

---

---

Y : かね                      田舎芝居(に)は必ず、義経が出てくる                      あの:ほ-え:::タケホト

I :                      //はい

S :                      //はい    うん

G :

K :

(9時54分00秒～10時00分00秒)

Y : ほととぎすのあい間の頃に義経が出てきて//ね、義経の格好をして、で、

I : //ええ

S :

G :

K :

---

---

Y : すっと通っていくんだそうです= けどね で:あのいうセリフがですね=

I : =ええ =ええ

S :

G :

K :

---

---

Y : 「さしたる用はなけれども」つつて=

I : =別に用事はないけれ//どつてはhhh

S : //通っていくっていう

G :

K :

---

---

Y : あの、幕間にすっと通って まあ うhhh義経が出てこないかね:::

I : あ::あ

S :

G :

K :

---

---

Y : 観客がね、あの:::納得しないんです//よ

I : //ぶっ//hふhふhふh

S : //へえ:::

G :

K :

---

---

Y : そういう人気 ええ ああ あ ど あの:::西日本ではそうですし東北では常陸坊

I :

S :

G :

K :

---

---

Y : 海尊と申しまして、//あの : : ええ : : 勸進帳の時に出てくる真っ白な頭の山伏

I : //はい

S :

G :

K :

---

---

Y : がでて、あのにつき (人気) があるんですね、東海で//は。 まあこういう

I : //ほお : : :

S : //ふう : : ん

G :

K :

---

---

Y : ことで あの : : ま (.) 大変に え : : 敗者 : : 判官びいきと申しますかね =

I : =はい

S :

G :

K :

---

---

Y : 敗者に対する同情が日本人の美徳じゃないかと私は思うんですね =

I : =う : : ん

S :

G :

K :

---

---

Y :

I : なるほどね : : この辺はK先生 = どうですかね : :

S :

G :

K : =はい いえ (.) あの : : (.)

---

---

Y : =え : :

I : =はい

S :

G :

K : 山にはですね = 私は歴史家じゃないからわかんないけどさんか =

---

---

Y : あります//ね : :

I :

S :

G :

K : //という そのつまり日本民族 (.) その統一最初からされてたわけじゃ

Y : =結局逃//けた人//ですよ//ね : : 荘園から逃れて山ん中  
I :  
S :  
G :  
K : なくて まあ=

---

Y : 住み込んでしまった//という  
I : //う : : ん =う : : ん  
S :  
G :  
K : そういうもう一つの文化の系譜があるから=こう

---

Y :  
I : //う : : ん  
S :  
G :  
K : 平地の農民だけが日本のその古くからの伝統だって思う必要ない//っていう話の

---

Y : それでその時に  
I : =あ : : なるほどね : :  
S :  
G :  
K : 一部だと思って聞いてたんですけどね : : =

---

Y : ね : : 私は一つおもしろいと思ったのはこの当時の女性が二つのタイプを描いてる  
I :  
S :  
G :  
K :

---

Y : わけですよね= 平家物語なんか (.) 見ますと= 木曾義仲の//  
I : =ほ : : : =はい //あ(h)  
S :  
G :  
K :

---

Y : 奥さんで巴御前というの//がございますよ//ね この人はですね 色も  
I : //あの有名な //はい : :  
S :  
G :  
K :

---

Y : 白くて髪も長くて= 容顔まことに優れて、非常に き あの 美しい人  
I : =ふ::ん  
S : =ええ  
G :  
K :

---

Y : なんですけれど (.) あの 力が強くて= 大変な= 一騎とうせんの  
I : =う::ん  
S : =ええ  
G :  
K :

---

Y : 強者と書いてある= で:::あの:::木曾義仲が最後に:::死ぬ:::  
I : =ふ::ん  
S :  
G :  
K :

---

Y : その:::七人になるまで戦ってねそれでもうどうぞ逃げてくれと= わた  
I : =はい  
S :  
G :  
K :

---

Y : 私が死んだときに女と一緒にあった言うたら後でいろいろ言われるわ恥ずかしいわ  
I :  
S :  
G :  
K :

---

Y : というんで逃げて行くところすけ//ど 最後にはすね (.) あの:::  
I : //はい  
S :  
G :  
K :

---

Y : え:::まあ あの (.) 一緒にあった 最後に戦って え:::まあ 目にものを  
I :  
S :  
G :  
K :

---

Y : みせてやろうつつうんで//おんだのはちろうという人を(.) え : : : もう敵の  
I : //はい  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : 大将をですな= 首突いて(.) 首ねじ切って=  
I : =ええ =か : : :  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : 捨てていったんですよ= これがやっぱり女性のね=  
I : =くわ : // : :  
S : //ふ : : : =ふ h h h  
G :  
K :

---

---

Y : 一つのタイプとして理想的なタイプとして平家は描いとるんですよ=  
I : =あっそう  
S : ふ : : ん  
G :  
K :

---

---

Y : で : まあ反対の(.) 女性もおりますあの運命に流されて= であのえ : : :  
I : =あ : : :  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : 清盛にもてあそばれるというあの祇王とか= 仏とかね  
I : =う : : ん う : : ん  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : であ : まあ清盛っのは残酷な人でありましてねどういう意味で残酷なかっていうと  
I :  
S :  
G :  
K :

---

---

Y: 結局 h h h あの: 祇王という白拍子を: 愛しておりますで (.) で、始めの頃  
I:  
S:  
G:  
K:

---

Y: よ 良かったんですけどそのうちに仏って (.) ま 変な名前ですがね、あのあの  
I:  
S:  
G:  
K:

---

Y: 白拍子を好きになって で新しいこいびと: のために 前の恋人にですね (.)  
I:  
S:  
G:  
K:

---

Y: あの: : まあ踊りをさせたんですね: (.) お//  
I: //お: :  
S:  
G:  
K:

---

Y: そういうあの残酷な// まあそれがきっかけであの: : :  
I: あh h h  
S: //いやでしょうね: :  
G:  
K:

---

Y: 出家しましてね// その祇王は// で 仏も (.) あのこんな人と一緒に  
I: //ええ //ええ  
S:  
G:  
K:

---

Y: おったらなにされるやわからんつんで あの: 一緒に: あってんだっけ出家して  
I:  
S:  
G:  
K:

---

Y : 後を追うという話もあるわけですけど// こういう : : あの : 女性も  
I : //ああ : :  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : おりますし、 あのさきほどの (.) 巴御前みたいな美しい// (.) 強い  
I : う : : ん //hh  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : //女性も //そうですねひとつの快挙です  
I : //hh 美しくて強いのが理想的なひとつの//  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : よ これあの その :  
I : はい じゃその女性像も (.) これから (.) 鎌倉時代  
S : ふ : : ん  
G :  
K :

---

---

Y : //はい  
I : 入ってどう変わっていくかって のまた次回に// 楽しみです  
S :  
G :  
K :

---

---

Y : //あども//  
I : どうもありがとうございました// //ありがとうございました  
S : //あり//がありがとうございました  
G :  
K :

---

---

Y :  
I : ええ今日は元県立文書館館長大和武生さんにお話を伺いました (.) 阿波の歴史シリ  
S :  
G :  
K :

---

---



Y :  
I :  
S : もう今日テレビやけんな : : (こんなん着る日でなかった)  
G : ああ : : ていうか変わり  
K :

---

---

Y :  
I :  
S : //あっ うーんそうやな : :  
G : ますよ : : // 次から :  
K :

---

---

Y :  
I :  
S : //あっあんまり : ://  
G : あっいつでもゆうてください// //でこそっとほくらだけで変わっ  
K :

---

---

Y :  
I :  
S : う : :ん ふhhh ああ (7, 0)  
G : たらわからないでしょう  
K :

---

---

Y :  
I :  
S : ねえこの山本さんて有名な人あのおっちがうのか  
G : あのはちろうさんの息子さんです  
K :

---

---

Y :  
I :  
S : //あ息子なん  
G : よ//  
K :

---

---

Y :  
I :  
S :  
G : うん  
K :  
D : ( ) 吉野川原稿ありますか?

---

---

Y:

I:

S: お送りした曲はダイアナ・ロス「If We Hold On

G:

K:

D:( ) 曲紹介

---

---

Y:

I:

S: Together」でした

G:

K:

---

---

◎第1版と第2版の異同について

第2版では、第1版の誤植を訂正したほか、「研究概要」および「放送人においてレリバントなことー放送関係者養成専門学校を訪ねてー」が付加されている。

## ラジオスタジオの相互行為分析

ー平成9年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書(第二版)ー

1998年 2月 3日 第1版発行

1998年10月17日 第2版発行

編集 榎田美雄

発行 徳島大学総合科学部人間社会学科国際社会文化研究コース  
現代国際社会分野『社会調査実習報告書』刊行プロジェクト

〒770-8502

徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地

☎(0886)56-9308 (榎田研究室)